



『どろんこ遊び』 みんなで力を合わせたら大きな川ができたよ！

7月はプールでたっぷりプール遊びを楽しみ、8月には泥んこ遊びやボディペインティング、しゃぼん玉遊びでは大きなしゃぼん玉を作りたいと年長児が針金ハンガーを星やハートの形に曲げて挑戦！

楽しい遊びがいっぱいの夏

園庭の木々にとまって元氣よく鳴いていたセミに負けなくらい元氣いっぱい賑やかに楽しい夏を過ごした子どもたち。



『モンスターだぞ〜』ボディペインティングで体に色を塗りました。

けん遊びでは、石けんをプリンカップの底で削り、水を加えながら泡だて器で混ぜると石けんクリームの完成。

小さいクラスのお友達も興味津々に近寄ってきて大きなシャボン玉ができる度に「わあく」と可愛い歓声を上げていました。また、石

カップにクリームを流し込んだり、搾り機で搾り出してカップケーキ作りが始まりました。お兄さんお姉さんが小さいクラスのお友達に「持つといてあげるな」「これ使っていいよ」と優しくかわる姿がとても微笑ましく感じられました。

子どもたちは、夏の遊びの中で様々な変化する素材に触れ、全身を使って楽しさや面白さを感じることができました。これからもその季節ならではの遊びをみんなで楽しんでもいきたいと思います。



これからも「ふれあい訪問」を通して、園の利用者と地域の高齢者の皆様との温かい心の交流を続けていければと考えています。

園のことや利用者の活動を理解してもらおうと同時に、利用者も地域に貢献し、地域で共に生活しているという実感を持ってもらうため、園に近い一人暮らしの高齢者の皆様のお宅を民生委員の方と園の利用者が訪問し、園で作った縫製製品や育てた花の苗などをプレゼントし、交流を図るというものです。

香川県ふじみ園では、9月の敬老月間にあわせ、地域交流行事の一環として、当園の利用者が地元の高齢者の皆様との交流を目的に「ふれあい訪問」を毎年、実施しています。

ふれあい訪問

社会福祉法人香川県社会福祉事業団
香川県ふじみ園

あさがお小道で遊んだよ

8月5日(水)、あさがお小道を4、5歳児の子どもたちが作り、小さい子どもたちを招待しました。

子どもたちが鉢に種をまき、毎日水やりを欠かさずしました。芽がでた時、つぼみを見つけた時、きれいな花が咲いた時、子どもたちは「お花が咲いているよ」とかわいいた笑顔を見せてくれました。

そんな思いのこもったあさがおで作った小道には、クネクネ橋が



色とりどりのあさがお小道!!

あったり、大きな池に飛び石があったり、ドキドキしながら歩き、ゴールを目指しました。

一人でゆっくり探検したり、ピョンピョンと跳んだり、池にいるカエルを探したり、楽しみ方は一人ひとり違っていているようでした。

小さい子が来ると、すぐに手をつないで優しくエスコートしてあげていました。小さい子も、お兄さん、お姉さんに連れて行ってもらいとてもほのぼのとした気持ちになれたようでした。



いっしょにこうね!

飛び石の池

少子化が進み、異年齢で過ごす事もなかなかありません。保育所という大きな家族の中、さまざまな経験を重ね、仲間を思いやる優しい心を育てていきたいと思えます。

